自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170400642	0170400642			
法人名	サッポロ・ライフケア株式会社				
事業所名	グループホーム 虹の家琴似				
所在地	札幌市西区八軒3条東2丁目2番12号				
自己評価作成日	平成30年10月20日	評価結果市町村受理日	平成30年12月14日		

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=0170400642-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 り、安心して暮らせている

参考項目:28)

	評価機関名	株式会社 サンシャイン
	所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調查日 平成30年11		平成30年11月16日

3. 利用者の1/3くらいが

4 ほとんどいない

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「当事業所は、第一番に町内会の一員として地域との繋がりを大切にしてホーム運営等に努めており ます。

|また、毎年町内合同の夏祭りの参加、町内合同防災訓練等(自主避難訓練含む。)に入居者と一緒 |に参加して、近隣住民の方からの支援が受けられる関係作りが出来ています。毎日の日常生活日 課では、午前中はラジオ体操、食事前(昼食・夕食)は口腔体操、3時のおやつ前には、生き生き手 袋体操を継続して実施しており、少しでも筋力低下・認知症予防に努めており、今後も良い生活が出 来るよう支援させて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|JR琴似駅から徒歩圏の住宅地にある2階建て1ユニットのグループホームである。近くに中規模の公園があり、住民 や子供たちと気軽に触れ合える環境である。事業所隣の喫茶店は利用者の行きつけとなっている。建物内は1階に3 つの居室と居間兼食堂、浴室などがあり、2階に6つの居室と、職員の休憩場所が配置されている。今年エレベータを 設置したが、階段を使える利用者が多い。利用者は活動的で、普段からゲームや塗り絵、字の書き取り、計算問題な どをしている。利用者同士や職員との会話が多く生き生きとしている。毎月近くの会館を借りて、ほぼ全職員が参加し |たミーティングを行って意思疎通を図り、サービスの向上に活かしている。ほとんどの利用者に友人や知人の来訪が あり、家族と一緒に美容院に行く方や、週3回、馴染みのマッサージ師が来る方がいるなど、馴染みの関係の継続が |できている。受診支援の面では、往診体制や訪問看護の体制を整え、受診内容の記録や共有も適切に行っている。 災害対策の面では、地域と一緒の避難訓練を行っているのが特徴である。排泄支援の面では、普段から利用者が活 動的に生活することで、現在も一人でトイレに行ける方が多い。排泄記録をつけ、必要に応じて誘導や見守り介助を |行っている。温かな支援のもと利用者が楽しく過ごすことのできるグループホームである。

	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目		るものに〇印
		1. ほぼ全ての利用者の		 		1. ほぼ全ての家族と
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	② 2. 利用者の2/3くらいの		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることを 3 よく聴いており、信頼関係ができている	0	2. 家族の2/3くらいと
, 0	(参考項目:23,24,25)	3. 利用者の1/3くらいの	V	(参考項目:9.10.19)		3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんど掴んでいない		(2 · 3 · 3 · 4 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1	O 2. 家族の2/3くらいと	4. ほとんどできていない
		1. 毎日ある		写いの場場がリーポー / J-FII(流力の) 544世の) 545年		1. ほぼ毎日のように
7	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	O 2. 数日に1回程度ある		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪 ねて来ている		2. 数日に1回程度
,	(参考項目:18,38)	3. たまにある	0	4 は (未 こいる (参考項目: 2,20)	0	3. たまに
58	,	4. ほとんどない		(9 · 9 · 9 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 ·		4. ほとんどない
		1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつなが		1. 大いに増えている
20	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	2. 利用者の2/3くらいが		35 りが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	0	2. 少しずつ増えている
		3. 利用者の1/3くらいが	0			3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない				4. 全くいない
	7. T + 1	1. ほぼ全ての利用者が		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみ られている	2. 利用者の2/3くらいが			0	2. 職員の2/3くらいが
Jy	(参考項目:36,37)	3. 利用者の1/3くらいが	0	0 (参考項目:11,12)		3. 職員の1/3くらいが
	(少为项目: 50,57)	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
		1. ほぼ全ての利用者が		 		1. ほぼ全ての利用者が
30	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	2. 利用者の2/3くらいが		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると 7 思う	0	2. 利用者の2/3くらいが
U	(参考項目:49)	○ 3. 利用者の1/3くらいが	0	/ あり		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
	N. C. * 1. * * * * * * * * * * * * * * * * *	○ 1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての家族等が
1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせてい	2. 利用者の2/3くらいが	6	■職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足し	0	2. 家族等の2/3くらいが
1	る (参考項目:30,31)	3. 利用者の1/3くらいが	0	8 ていると思う		3. 家族等の1/3くらいが
	(\$.0 .00 .01 /	4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
_		○ 1. ほぼ全ての利用者が				
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援によ	2 利用者の2/3くらいが				

(別紙4−1)

自己評価及び外部評価結果

	bul .	ы				
	部	項目	自己評価	外部	評価	
自己評価	外部評価	块 口	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.	理念	に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念 をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践 につなげている		運営理念の他に事業所独自の5項目の目標を作り、その中で「地域との関わり」を重視する文言を入れている。最近は職員の入れ替わりが多く、理念や目標の共有が十分できていない。	理念や目標を職員間で共有できるよう、定期的に 内容を確認したり、印刷したものを職員に渡すなど の取り組みを期待したい。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の行事には出来るだけ積極的に参加するよう に努めています。	事業所として町内会の夏祭りや避難訓練に参加している。近くの公園で利用者と住民が挨拶を交わしている。今後は子供たちとの触れ合いが持てるよう、学校等に働きかけを行う方針としている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人 の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活か している	グループホームを理解して頂く為に、ホーム見学は 随時受け入れています。他事業所及び介護サービ スについても同時に説明等させて頂いてます。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価 への取り組み状況等について報告や話し合いを行 い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度は運営推進会議を開催して、行事報告 や利用者様の状況等報告し、構成員の方々より意 見や要望を頂き、サービス向上に生かせるように努 力している。	運営推進会議は2か月ごとに開催され、地域包括 支援センターの職員、町内会役員、民生委員など の参加を得ているが、家族の参加は得られていな い。身体拘束や自己評価、研修報告等のテーマで 話し合い、議事録を家族に送付している。	会議に利用者家族の参加が得られるよう、継続的な働きかけを期待したい。	
5	4	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の 実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えなが ら、協力関係を築くように取り組んでいる	札幌市等の管理者会議に出席して意見交換を行っており、また、区とは生活保護の方の連携等を担当職員と密に連絡など取り合っております。	運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加 を得ており、管理者は市や区の管理者会議に出席 し担当者と情報交換している。何か相談事があれ ば直接役所に出向いている。		
6	5	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービ ス指定基準における禁止の対象となる具体的な行 為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	ていない。外部研修会にも出席して、身体拘束しないケアに努めている。	身体拘束に関するマニュアルと指針を用意し、年2回、勉強会を行っている。安全のため家族の同意のもと、やむを得ず身体拘束を行う事例があるが、定期的な必要性の有無の確認は十分といえない。玄関は日中施錠せず、出入りがあればブザー音で分かるようにしている。	やむを得ず一時的な身体拘束を行う場合に、定期 的な必要性の有無を確認し、その話し合いの記録 も残すことを期待したい。	
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努 めている	外部等の研修会に参加して、権利擁護の視点から 虐待防止に努めている。毎年研修会に出席してい る。			

	End.	グルーノホーム 虹の家今似			
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部	評価
一個	評価	^ -	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用			
		管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後 見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関 係者と話し合い、それらを活用できるよう支援してい る	や、実践者研修を受講して理解を深めるよう努力		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い 理解・納得を図っている	契約を結んだ段階で不安のないよう納得がいくまで 説明し、また医療関係や重度化した場合についても 説明、理解して頂ける様にしている。		
10		〇運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並び に外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映 させている	意見箱を設置しています。、又、ご家族が来訪された時は、近況についてお話したり、一緒に行事を楽しんで頂く等コミュニケーションをとっています	家族との面談時に意見を聞いている。得られた意見を「家族ノート」に記載することとしているが、最近は記録が行われていない。「虹の家だより」を毎月作成し、家族に送付している。	家族とのやり取りや、家族の発言等で職員が気づいた点などを利用者ごとの「家族ノート」に記載し、 共有することを期待したい。
11	1 '	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提 案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング等他の機会において、スタッフの意見を聞いたり意見を出しやすい工夫をしたり、要望を聞き働く意欲の向上にもつなげられるよう、全員で話し合う機会を設け反映させている。	毎月近くの会館を借りて、ほぼ全職員が参加して ミーティングおよびカンファレンスを行い、意見交換 を行っている。今後、管理者と職員の個別面談も行 う予定である。運営に関する役割分担を細かく決 め、職員に担当を持たせている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、 各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の 整備に努めている	運営者は、管理者や職員の努力は認めていると思われる。研修は勤務に支障が起きないよう調整し、向上心を持って働けるよう努力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と 力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保 や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要な研修があれば受講させて、内部研修で報告 し、ケアのスキルアップ等の継続に努めている。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の 活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組 みをしている	西区のグループホーム管理者会議の集まりや研修 会等にてネットワーク等を確立している。		

		グルーノホーム 虹の多今似			
自己	外部評価	項目	自己評価	外部	評価
一個		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Π.	安心	と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		の安心を確保するための関係づくりに努めている	困っている事や不安なことを視点に置き、家族とよ く話し合い、これからどう生活していきたいか信頼関 係を築いていけるよう、聞く機会を持つように努め ている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	出来る限り家族とよく話し合い、困っている事や不 安な事など、何を求めているのか話を聞く機会を作 り、受け止めて対応している。		
17		「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	新しい入居者の支援については、介護職員間での情報交換や詳しい記録によって必要な支援について検討し、その時出来る最良の方法で行うようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	居室の掃除や衣類の整理など、本人が出来るところはやって頂き、職員と会話しながら一緒に行う事で本人の思いや情報を得たり、お互い支えあう人間関係を築いている。		
19		いく関係を築いている	入居者のホーム内での行動に介護の困難を感じた 時は家族に相談し、より良いケアが出来る様連携し ている。		
20	0	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所と の関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の家族や馴染みである友人などが気軽にかつ 積極的に訪ねて来て頂けるよう声を掛けし、今まで 支えあってきた人との関係が途切れないよう支援し ている。	ほとんどの利用者に友人や知人の来訪がある。利用者が年賀状を書いた際は投函を支援している。 半分以上の利用者が月1~2回、隣の喫茶店に通っている。家族と一緒に美容院に行く方や、週3回、馴染みのマッサージ師が来る方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援 に努めている	孤立しないよう、会話やレクリエーションなどを通して入居者同士仲良〈暮らしていけるよう努めている。個々の事情や言動を見ながら入居者同士の相性に配慮して、皆で楽し〈支えあえる関係作りが出来る様支援している。		

		グルーノホーム 虹の家今似			
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部	評価
一一個	一価	# m	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係 性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努めている	入居中から家族代わりのようにお世話させて頂いた方の中には、退居後も事あるごとに季節の食物等を届けてくださる交流が続いている方もいる。		
	Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に 努めている。困難な場合は、本人本位に検討してい る	本人の生活歴や言葉、行動などから希望や意向を 把握し、記録などで職員が共有している。必要に応 じてミーティングなどで話し合いケアの方針を決め ている。		利用者のフェイスシートやアセスメントシートの再整 備を期待したい。
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努め ている	本人やご家族から話を聞くほか、以前利用されていたサービス事業所などからも話を聞くことで具体的な情報を整理し、経過等把握に努めている。		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	個々の入居者の様子を把握して24時間介護記録に 残している。口頭でも申し送り、必要時は連絡ノート に記載して情報を共有している。		
26	10	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方に ついて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それ ぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介 護計画を作成している	入居者本人の要望や家族の意向などを基に必要と 思われる原案を作成している。月1回の職員会議 の際には意見を集約してケアプランに反映してい る。	介護計画は3~6か月の期間で見直し作成することとしているが、決められた期間で見直しが行われていないものが見られる。見直しの際にモニタリングシートなどは作成していない。計画目標を意識した生活記録の作成が行われていない。	事業所で決めた期間で介護計画を見直し作成することを期待したい。また、見直し時のモニタリングシートの作成や、計画目標を意識した生活記録の作成を期待したい。
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個 別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践 や介護計画の見直しに活かしている	入居者それぞれ日々の様子、食事や分量、排泄や 身体状況、本人の言葉、訴えや要望などを記録し、 介護計画の見直しに生かすよう取り組んでいる。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに 対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支 援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居やその家族の要望に応じて、入退院時の必要な支援や移動時に必要な送迎などのサービスを提供している。		
29		を楽しむことができるよう支援している	年間2回程度、芝オケがってん一座の方々に訪問していただいている。また、入居者の希望で近隣の理容院に行かれたり、ホームにて訪問理美容を受けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が 得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きなが ら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回提携の訪問診療があり、バイタル測定や体調に不安がないか入居者に話しかけ、相談できる関係をつくっている。体調に変化があった時は、その都度主治医等に報告して指示を頂いている。	協力医療機関による月2回の往診と、毎週の訪問看護を受けている。通院は原則家族対応だが、必要時は事業所で対応している。受診内容は往診分を「医療連携チェック表」、通院分を「医療記録」に記載し、共有している。	

自己評価	外部評価	ウルークホーム 虹の家今似 項 目	自己評価	外部	評価
評価	評価	垻 日	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受 けられるように支援している	提携している訪問看護師が、週1回来てくれている ため顔なじみとなり、気軽に相談しやすい関係が出 来ている。スタッフも日頃の健康管理や医療面で気 になる事について助言や相談が出来ている。		
32			入居者が入院した場合、入院先へ必要な情報を提供している。また、なるべく早く退院出来るよう本人の現状把握等を病院側と密に連絡を取って行っている。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段 階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ででき ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関 係者と共にチームで支援に取り組んでいる	13年以ししわり、里長年した場合75小一ム医療機能	利用開始時に、重要事項説明書の中の「重度化した場合の対応に係る指針」を家族に説明し、同意書を得ている。過去に事業所での看取りを行っていないが、条件が合えば行う方針である。看取りの研修を実施している。	
34		践力を身に付けている	事故発生時のマニュアルや申し送りなど、知識と実践の資料がファイル保存されている。 夜勤時に目を通し、実際の場面で活かす事のできる技術を身につけている。		
35	13	〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるととも に、地域との協力体制を築いている	火災訓練や避難訓練を定期的に行っている。八軒 消防署の協力を得て、町内会と合同で防災訓練を 行っている。通報訓練、避難訓練では消火の実技 指導、入居者も参加し、地域の人々との協力を得ら れている。	年2回、昼夜を想定した避難訓練を消防や地域の協力を得て実施している。職員は救急救命訓練を受講している。災害時に必要な備品類をさらに充実する方針としている。	地震や水害等、火災以外の災害に関する対応マニュアルを整備し、職員間で定期的に確認することを期待したい。また、災害時の危険箇所やケア場面別の対応についても確認しておくことを期待したい。
	_)人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36		○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損 ねない言葉かけや対応をしている	すべての職員が入居者一人ひとりの人格を尊重 し、プライバシーの確保を徹底するなど、入居者の 尊厳と権利を守る事に取り組んでいる。	名前は「さん」づけで呼びかけている。申し送りで個人名をイニシャルで伝え、個人情報も事務所で適切に管理している。今後は接遇などの勉強会を検討している。	
37		決定できるように働きかけている	本人が表出しなくても入居者が食べたいメニューを 考慮したり、理容院を利用したいかなど、本人が決 める場面作りを実施している。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ご したいか、希望にそって支援している	ご本人のペースでゆっくり、楽しく過ごして頂ける 様、可能な限り個別性のある支援に取り組んでい る。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支 援している	入居者一人ひとりの個性を大切にした髪型、服装など、本人の好みや意向に沿えるようさりげなく支援している。		

		グループホーム 虹の家今似			
自己	外部	項目	自己評価	外部	評価
一個	9 外 3 部 平 評 西 価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや 力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食 事、片付けをしている	好き嫌いがある人には調理を工夫したり代替して、 その人に合わせた食事が出来るよう努めている。 調理の下ごしらえや手拭きの準備、下膳は入居者 が行っている。	食材会社の献立に季節料理も入っている。月に1~2回は献立を中止してパン食や焼きそばを楽しみ、お寿司やオードブルを取り寄せることもある。利用者がおやつ作りや後片付けに参加している。	
41		保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に応じた 支援をしている	献立は食材業者の管理栄養士が作っている。体調に合わせてもり付けたり、嫌いな物には代替提供したりと注意を払いつつ、チェック表でも個々の食事 摂取量や水分摂取量を記録して把握してます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人 ひとりの口腔状態や本人のカに応じた口腔ケアをし ている	入居者一人ひとりの口腔内の清潔保持が出来るよう食後の口腔ケアの声かけ、介助は日常的に行い、就寝時は義歯洗浄剤にて消毒しております。		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排 泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来るだけトイレで排泄できるようにとの思いから、 排泄パターンを把握して、定時トイレ誘導を行って いる。ご本人で出来る方には声掛け等行っていま す。	利用者は、ほぼ自力で昼夜間ともトイレで排泄を 行っている。羞恥心に配慮し声かけや誘導を行い、 それとなく見守り、排泄状況を記録している。入居 後に居間から居室への階段移動で自力での排泄 に改善している。	
44		んでいる	便秘は、心身の不安定を引き起こすため支援が必要と捉えている。食事やヨーグルトなどを提供して排便を促し、便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の順番等なるべく希望に合わせ入ることが出来るようにして、体調の状況みてシャワー浴等で支援している。基本的には、週2回利用して頂いている。	毎日入浴が可能で、午後の時間帯に2~3名の入浴を支援し、同性介助の配慮や湯加減を聞き、入浴を拒む時は時間をずらすなど、利用者の意向に沿って対応している。入浴中は湯船に入り職員と会話して楽しんでいる。	
46		休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援して いる	職員は、一人ひとりの入居者の睡眠パターンや排尿パターンを把握し、夜中のトイレ誘導や見守りを行っている。日中も体調に合わせてベッドでの休息を促す支援をしている。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法 や用量について理解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	入居者が使用している薬の目的や副作用、用法用量については、職員が理解できるよう処方薬一覧をファイルしている。服薬後の症状の変化についても確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合った役割があり、各自居室の掃除洗濯物干しや食器洗い、ウエス切りや布巾ぬいなどを行っている。また、楽しみとしてぬり絵、オセロやトランプ、パズル等を行っている。		

自己	外部評価	項目	自己評価	外部	評価
評価	評価	,	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事企画書等にて、買い物外出、外食デー、雪まつりやお花見、紅葉狩りなど季節を感じられる場所へ車で出かけて楽しめるようにしている。また隣の喫茶店の利用も行っています。	公園の散歩や玄関先のベンチで外気浴をし、数人で和食レストランでの外食や買い物に出かけている。農試公園の花見や五天山公園で紅葉見物をしている。冬期も隣りの喫茶店に出かけたり、雪まつり見学後に外食を楽しんでいる。	
50		おり、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者個々のお小遣いは事業所で預かっている。 買物は、職員が支払ったり、代行している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支援をしている	本人が連絡を取りたいと思った時に気軽に言える 関係作りに心がけている。また、ご無沙汰している 場合は元気な声を聞かせてあげるよう支援してい る。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	観葉植物やグッピーなど飼育しており、家庭的な雰囲気の中で生活して頂けるよう工夫しています。	2階6室と1階に3室の他、浴室や居間を配置した造りになっている。今年はエレベーターを増設しているが、2階への階段移動は適度な運動になっている。居間はカウンター式の事務所の窓から陽が入り明るく開放的である。壁には行事の写真や利用者の作品を飾り、ゲーム用具なども置かれており、家庭的な雰囲気になっている。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫を している	1階道路が見える所にベンチがあり、1人座っても 心地よく過ごせる場所がある。		
54		ながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、 本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、本人や家族と相談しながら、使い慣れた物を活かして本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている。時折、環境の整備など行っています。	居室にクローゼットと温湿度計を備え、テレビ、椅子、小物類が持ち込まれている。壁にはカレンダーが飾ってある。仏壇や馴染みのタンス、趣味の物も持ち込まれいる居室もあり、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55	1 /	〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	階段や廊下、トイレ等、入居者の状態に合わせて手 すりなどを設置し、安全確保と共に自立等への配慮 をしています。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム 虹の家琴似

作 成 日: 平成 30年 12月 2日

市町村受理日: 平成 30年 12月 14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念、目標を職員間で共有が出来ていない。	理念目標等職員全体で共有しケアにあたる。	理念目標等施設内に掲げているものを見たり唱和したりする。	6か月
2	4	:運営推進会議を生かした取り組み 会議案内に テーマを記載し参加できない家族の意見も収集し、家 族の参加へつなげる会議運営になってない。	会議案内にテーマを記載する。運営推進会議への参加に繋げる。	会議案内にテーマを記載する。家族に参加をよびかける。	6か月
3	6	やむを得ず一時的な身体拘束を行う場合話し合いの 記録を残していない。	身体拘束のマニュアルと指針を用意し、スタッフ間で 共有し定期的な必要性を確認できる。	職員全体で情報を共有し身体拘束にならないかを話 し合いする場をもうける。	3か月
4	10	家族との面談はあるも記述がない。	家族の面談にて状況把握する。	職員全体で介護記録を詳しく記入する。また職員全体 で情報交換する。	6か月
5	23	思いや意向の把握 会話での利用者の希望を聞いたり動作や表情から読み取る事の把握に努める。	センター方式、介護記録で現在の思いが分かるように する。	フェイスシート、アセスメントシート等活用してケアにあたる。	6か月
6	26	介護計画書、モニタリング作成が出来ていない。	介護計画書の作成更新を怠らない。	職員全体でケアプランの見直し、目標設定の取り組 み。	6か月
7	35	災害対策火災以外の地震水害のマニュアル作成、危 険箇所の確認。	職員全員で災害に対するマニュアルを把握、災害対策をする。	職員全体で危険箇所の確認、ケア場面での対応を ホーム内でシミュレーションする。定期的に対策の確 認をする。	3か月

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。 注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。